



町内でとれた粘土を使い

「焼き物づくり体験」を実施しました



7月1日(月)～10日(水)、26日(金)、27日(土)に、多世代活動交流センター内で、町内でとれた粘土を使った「焼き物づくり体験」が実施されました。

体験は、初級コースと上級コースに分かれて実施し、初級コースでは古代の食器(坏)やミニ瓦、上級コースでは中型の甕や壺を作りました。

制作された皆さんの作品は、農村公園内「まつぼっくり」隣の復元古代窯で10月11日(金)から28日(月)にかけて「焼成実験見学会」を実施し、焼き上げる予定です。

地域の見守り活動

青少年非行防止パトロールを実施しました



8月3日に開催された納涼夏まつりで、町青少年問題協議会(事務局:町民健康課)及び町校外補導委員会(事務局:教育委員会事務局)の合同で、夜間の青少年非行防止パトロールを行いました。

納涼夏まつり会場では委員の皆さんが、青少年の非行を防ぐため、啓発物品を配布しながら、子どもたちに声かけや見回り活動を行いました。

上熊井農産物直売所「ちよっくま」

PR 隊員就任 1周年記念イベントが開催されました



7月28日(日)に上熊井農産物直売所「ちよっくま」PR 隊員就任 1周年記念イベントが開催されました。

地元生産者さんによる出店のほか、PR 隊員「ににこーちゃん」が打った鳩豆うどんの提供やよしもと芸人の皆さんによるお笑いショーが行われ、笑顔があふれるイベントとなりました。

町内小学生が「1日司書」で図書館の仕事を体験しました



8月1日、8日、15日、22日に町立図書館で夏休み子ども体験教室「1日司書」が行われ、延べ14人の児童が図書館の仕事を体験しました。

図書館の仕組みや役割などを学ぶとともに、本や図書館に対する興味を高めるための事業で、子どもたちは、図書館の仕事をまず座学で学びました。その後、貸出・返却、配架(本を棚へ戻す作業)、本などの検索、カバー掛けなどを体験しました。

「子ども大学はとやま」
第2回、第3回講義が開催されました

7月23日(火)に東京電機大学にて第2回講義「チームワークを楽しもう」が、7月31日(水)に町多世代活動交流センターにて第3回講義「古代の焼き物づくりを体験しよう」が行われました。

第2回講義では、ゲームやワークを通して、「ものの考え方は人それぞれ見方によってみんな違う」ということを学びました。学生からは「みんな違うことが当たり前ということを知れて良かった」、「コミュニケーションのコツを知れたので活用したいと思った」といった感想がありました。

第3回講義では、国指定史跡「南比企業跡群」について講義を受けた後、町内でとれた粘土を使用し、ミニ瓦や坏を楽しそうにそれぞれ作っていました。



▲第2回講義の様子

▲第3回講義の様子

夏の風物詩「納涼夏まつり」が開催されました

鳩山町商工会納涼夏まつり実行委員会の主催による納涼夏まつりが、8月3日(土)に中央公民館北側駐車場で開催されました。

出店や太鼓やダンス発表、盆踊りなど、さまざまな催しが行われました。

夏まつりの最後には打ち上げ花火が夜空を彩り、来場者を魅了していました。

会場は、祭りならではの掛け声や太鼓の音色に交じり、多くの方の笑い声であふれていました。



鳩山ニュータウン地区計画住民案が提出されました

鳩山ニュータウン地区では、地域住民の合意に基づく建築協定により、良好な街並みを維持してきました。しかし、この建築協定を運営していくことが難しくなったため、現在、町が策定する地区計画への移行を進めています。この地区計画は、建築や敷地、土地利用に関する制限等を定めるもので、住民の皆さんのご理解とご協力が必要となります。

なお、移行にあたっては、公募により鳩山ニュータウン地区内の所有者30名で「鳩山ニュータウン地区計画検討会」が設立され、昨年の11月から7回にわたる会議を重ね、住民案が検討されてきました。このたび、住民案がまとまったことから、7月28日

(日)にふれあいセンターで手交式が開催され、同検討会の江幡代表から町長へ住民案が提出されました。

町はこの住民案を基に、今後鳩山ニュータウンの地区計画の策定を進めていきます。

■問合せ 役場まちづくり推進課 ☎296-5893

